

広報「いび川」

国土交通省 木曾川上流河川事務所 揖斐川第二出張所
〒503-0813 大垣市三本木2-651-1
TEL 0584-81-1034 URL <http://www.cbr.mlit.go.jp/kisojyo/>

①地域の皆様へ ~広報誌創刊のご挨拶~



出張所長 細野 貴司

平素は、国土交通行政へのご理解とご協力を賜りまして、厚く御礼申し上げます。

この度、当出張所では、管内の河川工事の実施状況や地域とのコミュニケーションも考え、多彩な地域情報を盛り込んだ、広報「いび川」を発行することとなりました。今後は広報誌を通じて、様々な情報をご提供させていただくとともに、より多くの方々からご意見をいただき、当出張所の一層の取り組みに役立て、地域の安全・安心の向上に向けて努力していきたいと考えております。

本誌が、地域の皆様と当所との架け橋になることを祈念し、創刊のご挨拶とさせていただきます。

②揖斐川第二出張所って何をするとところ??

~地域に信頼され、地域とともに歩む出張所を目指して~

揖斐川第二出張所は、揖斐川中流域における安全で安心できる地域の実現や良好な河川環境の保全などを図るため、以下のような業務を行っています。

【堤防や護岸などの河川管理施設の維持管理】

1)河川パトロールの実施

堤防や護岸等の施設点検、ゴミの投げ捨てや危険行為等の監視などを行っています。



出水時の緊急パトロール (杭瀬川 H24.9.18)

2)維持工事の実施

河川パトロール等で発見された異常箇所の応急的な補修工事や堤防の機能維持等を目的とした堤防除草などを行っています。また、河川の流水の阻害になっている河道内の樹木の伐採等を行っています。



伐採前



伐採後



3)河川利用に関する許認可事務

河川敷や河川施設等を安全かつ適正に利用してもらうための許認可事務等を行っています。

【揖斐川第二出張所管内図】



【凡例】
■ 揖斐川第二出張所管理区間
■ 他出張所及び県管理区間

【災害等緊急時の対応】

4)洪水や地震時の災害対応

緊急パトロールの実施、被害を最小限に食い止めるための応急復旧の対策検討及び復旧工事などを行っています。



5)水質事故の対応

油類等の流出事故による被害が拡大しないようにオイルフェンス等の設置などを行っています。



【河川工事等の監督業務】

6)河川工事等の監督業務

洪水を安全に流すための河川改修工事や、元来の動植物が生息できるような自然環境を保持するための整備工事などを行っています。



【総合学習や河川愛護活動等の支援】

7)総合学習の支援

小中学生が実施する簡易水質調査(水生生物調査等)などの支援を行っています。

8)河川愛護活動等の支援

地域の方々が主体的に取り組んでいる清掃活動の支援を行っています。



③洪水、台風、地震、津波等による巨大災害に備えて ～地方自治体と連携した防災力の強化を目指して～

■大垣市

【大垣市水防工法大会】

5月26日(日)、大垣市野口町地先の杭瀬川スポーツ公園西の杭瀬川右岸堤で大垣市水防工法大会が開催されました。市内25水防団の団員436名が参加し、各水防団は、水防の基本となる「土のう拵え工」「積み土のう工」「月の輪工」の3種目について、完成までの時間や出来映えを競い合い、国土交通省も審査員として揖斐川第二出張所長が参加しました。

洪水により堤防の洗掘や漏水が生じた際には、堤防の破堤など、甚大な被害に至らないよう、迅速かつ確実な水防活動が必要不可欠です。各水防団の日々の鍛錬及び技術の継承に深く感謝と敬意を表する次第でした。



【塩田橋陸閘点検】

6月1日(土)深夜、国土交通省は、大垣市と久瀬川町及び静里町の自治会の皆様と、塩田橋陸閘が確実に開閉ができるか、洪水時に備えた操作訓練を実施しました。塩田橋は、上下流の堤防より一段低くなっているため、洪水時に塩田橋から越水し、住宅側へ浸水被害が生じないよう、「陸閘」という鉄の横引きゲート(約7トン)を設置し、暫定的に堤防の役割を果たすもので、S58年に設置されました。

幸いにも、これまで一度も、洪水時にゲートを閉めた実績はありませんが、近年、各地で局地的な大雨(ゲリラ豪雨)が降り、浸水被害が多発している状況を考えますと、これらの訓練が、今後の減災対策に活かされること期待します。



【元気ハツラツ市】

6月2日(日)、大垣市郭町他の駅前商店街において、元気ハツラツ市が開催され、国土交通省は災害対策車両として、排水ポンプ車と照明車の展示を行いました。当日は、多くの家族連れが来場し、露店やステージイベントで盛り上がり、国土交通省のブースにも多くの方々に立ち寄りいただきました。

排水ポンプ車は、浸水被害が生じた際に水中ポンプにより排水を行い、東日本大震災や昨年の九州豪雨でも活躍しました。また、照明車は夜間の緊急作業を支援します。どちらの車両も平常時は大垣市馬の瀬町地先にある揖斐川大垣河川防災ステーションに格納しており、災害時には全国各地へ派遣され、活躍しています。



■安八町

【油流出事故に備えた現地訓練】

6月18日(火)、油が河川への流出したことを想定した水質事故対策訓練を安八町牧地先の中須川において、安八町、岐阜県、国土交通省において、初の合同訓練を実施しました。訓練では、水質事故が生じた際の連絡系統の確認を行うとともに、オイルフェンスを展張し、油等を回収するための一連の作業手順等について再確認しました。また、魚の斃死などが生じた際の原因を探るため、簡易水質分析キットを用いた水質試験のやり方について体験学習を行いました。



■輪之内町

【大震災に学べ！ 国・町合同の現地視察会】

東日本大震災から2年が経過し、復興の進捗状況を現地学び、輪之内町において、今後、災害が発生した時に、どのように対応すべきか、また、災害が発生した後、どのように復旧すべきかを学ぶため、平成25年4月22日～24日の3日間、輪之内町の現地視察が実施されました。

木曾川上流河川事務所としても、災害発生後の早期復旧、復興手法の参考とするため、浅野事務所長他1名が2日間同行し、輪之内町の方々と一緒に現地視察を行う中で、お互いの役割の中で何をすべきか、現地建設的な意見交換を行いました。

尚、現地は、震災がれきの除去等は進んでおり、堤防、道路等の公共施設の復旧は順調に行われていました。



旧北上川河口部の津波被害及び復興状況の説明を受ける木野輪之内町長他。(宮城県石巻市)

豆知識

Q. 堤防の草はなぜ刈り取るのか、ご存じですか？

A. 堤防の草刈りを実施するのは、堤防の安全確認を行うためです。具体的には、梅雨期及び台風期前後、原則年2回の堤防の草刈りを行い、堤防の崩れ、くぼみ、クラック、モグラの穴等、堤防に変状がないかを確認します。また、草刈りを行う二次的効果として、洪水時の水防活動を容易にしたり、河川を利用する皆様に、安全で快適な河川環境を提供することも重要な目的の1つとなっています。



小動物による巣穴を発見！ (H24.6.18)



雨水の流入により堤防の弱体化に繋がる恐れがあるため、応急的に補修を実施。

Q. 駆除に苦情が来ってしまうほど美しい黄色い花とは？

A. 毎年、春(5月～7月頃)に、揖斐川等の河川敷や堤防上に咲く黄色い花は、キク科の植物の1種で、「オオキンケイギク」と言います。とても美しい花々で、黄色のじゅうたんを敷いたような華やかな印象を持ちますが、実は、日本古来の在来種に悪影響を与える恐れがあるため、平成18年2月に特定外来生物に指定され、防除の対象となっています。このため、国土交通省では、これ以上、生息地域を広げないため、刈り取り後、焼却処分を行うなど、法律に基づき、適切に処分を行っています。

地域の皆様には、ご理解とご協力をお願いします。また、他の場所へ持ち込み等をしないよう注意願います。



■川の防災情報 (河川の水位や雨の情報)

<http://www.river.go.jp/>

■木曾川水系浸水想定区域図

<http://www.cbr.mlit.go.jp/kisojyo/rootup/index.html>